

憲 法

3 題のうち 2 題を選択して解答してください。

解答用紙の冒頭の「第○題解答」欄に問題番号を記入してください。

1. 以下の(1)および(2)の両方に答えなさい。

(1) 日本国憲法 35 条が定める令状主義とはいかなる趣旨かについて述べなさい。

憲法 35 条：何人も、その住居、書類及び所持品について、侵入、搜索及び押収を受けることのない権利は、第 33 条の場合(現行犯)を除いては、正当な理由に基いて発せられ、且つ搜索する場所及び押収する物を明示する令状がなければ、侵されない。

(2) 組織犯罪の予防および当該犯罪の全容解明のために、その嫌疑のある者たちに対して、警察は、本人の同意なく、かつ令状を取得することもなしに、彼らの使用する自動車に秘かに位置情報等を探索できる GPS 端末を取り付け、彼らの所在の検索と、移動状況を把握する捜査を行っていた。このような捜査が提起する憲法問題を示し、その憲法適合性を論じなさい。

2. 政教分離原則についての以下の(1)および(2)の両方に答えなさい。

(1) 日本国憲法が定める政教分離原則の意味について、簡単に説明しなさい。

(2) A 市は、その所有する市有地を B 町内会に無償で提供し、B 町内会は A 市有地に地域の集会場を設置・管理しているが、その同じ A 市有地に鳥居および神社の祠が設置され、集会場も鳥居内の神社の一角に建設されている。なお、B 町内会は、A 市有地上に設置されている神社物件ならびに集会場の所有者である。この A 市有地の B 町内会への無償提供に関して生ずる憲法上の問題について論じなさい。

3. 違憲審査制についての以下の(1)および(2)の両方に答えなさい。

(1) 違憲審査制を 2 つの類型に大別した場合、日本国憲法の採用する違憲審査制の性格はどのようなものと考えられるかについて述べなさい。

(2) 自衛隊法が憲法 9 条に違反すると主張して裁判所の憲法判断を求めることができるかについて、関連する裁判例を指摘しながら論じなさい。